

事業者における放課後デイサービス 自己評価結果（公表）

| | | | | | 事業所名 SMILE NEXT KURA | |
|--------------|----|---|----|-----------|----------------------|---|
| | | チェック項目 | はい | どちらとも言えない | いいえ | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 工夫している点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | | | 利用人数や活動内容に応じて配置や使い方を工夫し、子どもたちが安全かつ快適に過ごせる環境づくりに努めています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | 1 | | 職員の配置数は基準を満たしており、それぞれの専門性を活かしながら適切な支援が行える体制を整えています。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 3 | 2 | 1 | 入ってすぐが階段になっており、車いすへの配慮ができていないが室内は段差などなくバリアフリー化への配慮をしています。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 6 | | | 職員会議・毎朝の朝礼で、申し送りと主体的な情報共有の場としています。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | 1 | | アンケートの回収率と活用で課題があるため、周知と工夫を行い、意見を具体的な改善に反映していきます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | | ホームページで公開しています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | 2 | | 第三者による外部評価は行っていませんが必要に応じて実施を検討しています。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | | 外部講師による専門的な研修や、安全研修、感染症対策委員会の研修などに参加し、資質向上に向けた機会を確保しています。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | | アセスメントを適切に実施し、子ども・保護者のニーズや課題を客観的に把握した上で、放課後等デイサービス計画を作成しています。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 3 | 3 | | 標準化されたアセスメントツールを使用し、定期的に見直しを行っています。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | | それぞれの専門性を活かしながら検討しています。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化されないように工夫している | 5 | 1 | | 内容の見直しや発達段階を考慮した取り組みを入れるなど工夫しています。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | | | 平日・休日・長期休暇それぞれの利用時間や子どもの状況に応じて、個々に合わせた支援を行っています。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | 1 | | 子どもの状況や特性に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しています。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している | 6 | | | 朝礼時に、活動内容や流れ、配慮が必要な点等について話し合いをしています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 2 | | 支援終了後にすべての振り返りは難しい場合もあるが、申し送りや次の日の朝礼を活用し気付いた点等を共有している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | 1 | | デイロボにて正しく詳細に記録し、支援の検証と改善につなげている。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 4 | 2 | | 6か月ごとのモニタリングに加え、必要に応じてモニタリングを行い計画の見直しを行なっている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 4 | 2 | | 5領域に則した活動を立案・実施し、多面的な支援を図っています。 |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している | 4 | 2 | | 主に児童発達支援管理責任者・リーダー、その子どもについて精通している職員がいる場合、同席していただいています。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 4 | 2 | | 学校との情報共有は基本的には家庭を介して行っている。学校への送迎時に、学校での様子・事業所での様子を共有することがある。 |
| | 22 | 医療的ケアを必要とする子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 1 | 4 | 1 | 現在該当する利用者様がない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 3 | 3 | | 各関係機関と情報共有を行い、子どもの状況について相互理解に努めています。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 6 | | | 学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する際には、これまでの支援記録等を提供し、必要な情報を丁寧に共有しています。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 5 | 1 | | 放課後等デイサービス連絡協議会・子ども部会への参加をし助言をいただいています。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 5 | 1 | | 同グループの事業所と合同で活動やイベントを開催することがある。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 4 | 2 | | 自立支援協議会への参加はしていないが、放課後等デイサービス連絡協議会・子ども部会などへの参加をしている。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | | 送迎時にその日の様子を伝えたり、LINEWORKSで活動の様子を伝えている。また、必要に応じて面談を実施している。 |

| | | | | | | |
|-----------|----|---|---|---|---|---|
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 4 | 2 | | 子どもの良い行動を伸ばす関わり方などを学び、家庭でも実践できるよう日々の関わり方や相談支援を行い、必要に応じてペアレント・トレーニング等の支援につなげています。 |
| 保護者への説明責任 | 30 | 運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | 1 | | 契約時に説明をさせていただいています。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | 1 | | 相談対応は行っているものの、時間の確保や対応のばらつきに課題があります。今後相談しやすい環境づくりや職員間での対応の共有を強化し、より適切な助言と支援につなげていきます。 |
| | 32 | 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 3 | 2 | 1 | 現状は十分に実施できていないため、今後は茶話会や会社のイベント（KURA FES等）を通じて、保護者同士の交流や連携を支援していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | | 苦情対応の体制を整備し、周知を行うとともに、ご意見があった際には速やかに職員間で会議を行い、迅速かつ適切に対応しています。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | | 月間の活動予定表や外出活動に関するおたよりの配布をしている。また、日々の活動の様子については毎支援後に発信している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | | | 鍵付きの書庫にて、個人情報記載の書類は保管してあります。またインスタグラムやHPへの掲載に関して契約時に保護者へ可否を伺っています。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | | スケジュールの可視化、大きいモニター画面を用いて理解しやすいよう配慮しています。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 3 | | シンメーとして会社全体では行っていますが、自事業所単体では実施がありません。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 5 | 1 | | 契約時に説明をさせていただいています。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | | 年2回の防災訓練・災害避難計画の作成を行っています。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | 1 | | 虐待防止委員会が設置されており、虐待防止のDVD視聴など、定期的な研修を実施しています。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後デイサービス計画に記載している | 6 | | | 契約時に身体拘束をさせていただく場合の3つの条件をお話しし、書面にて同意をもらっています。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | 1 | | 契約時、食物アレルギーについて保護者へ確認し、医師の指示に基づく対応をしています。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | | | 随時ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有して問題解決に努めています。 |